

2021 年度新築戸建住宅の ZEH シリーズ環境貢献度 最高ランク『ZEH』比率 89%^{*1} で過去最高を更新

- 環境共生の住まいを積極展開し、最高ランク『ZEH』比率は 89%^{*1} に続伸
- 21 年度建設の建売住宅における『ZEH』比率は 100%^{*2} を達成
- エネルギー自給自足型住宅^{*3} (蓄電池搭載) は72%^{*4} と伸長

2022 年 6 月 9 日
セキスイハイム中四国株式会社

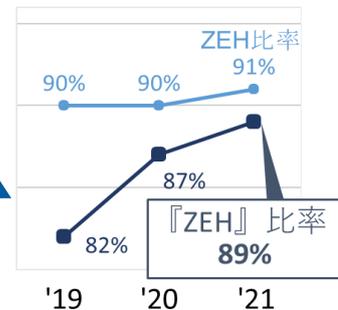
セキスイハイム中四国株式会社（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：福本佳史、以下「当社」）は、2021 年度の新築戸建住宅において、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の中で環境貢献度が最高ランクの『ZEH』比率が 89%^{*1} となり、過去最高を更新しましたのでお知らせします。

セキスイハイムグループでは、経済性と環境共生の両立を考え、1997 年から太陽光発電システム（以下「PV」）を積極的に提案した結果、『ZEH』がより多くのお客様から支持をいただきました。今後も『ZEH』の推進を軸に、新築戸建の提案力強化、サステナブルなまちづくりを行うことで、環境にやさしくニューノーマルにも対応した暮らし方提案の更なる充実を図ってまいります。

当社の『ZEH』比率状況について

1. 環境共生の住まいを積極展開し、最高ランク『ZEH』比率は 89%^{*1} に続伸

国の ZEH の定義には、エネルギー削減率が最も高い『ZEH』の他、Nearly ZEH や ZEH Oriented も含まれていますが、当社は特に『ZEH』の普及に注力しており、2021 年度の新築戸建住宅における『ZEH』比率は 89%^{*1} と過去最高を更新。また、全体の ZEH 比率も 91%^{*5} となりました。



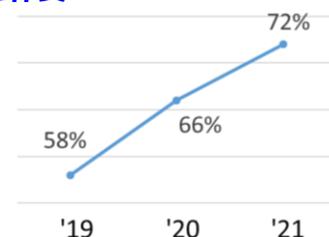
▲当社の『ZEH』、ZEH 実績の推移

2. 建売住宅における『ZEH』比率は 100%^{*2} を達成

当社ではより多くのお客様に経済性と環境共生を両立させた住まいをご提供すべく、建売住宅における ZEH 推進にも積極的に取り組んでおります。環境貢献と経済性の両立は多くのお客様からの共感、ご好評をいただき、2021 年度に建設した建売住宅において全棟『ZEH』を達成し、『ZEH』比率は 100%^{*2} となりました。

3. エネルギー自給自足型住宅^{*3} (蓄電池搭載) は 21 年度 72%^{*4} と伸長

セキスイハイムグループでは更なる環境貢献と災害時の安心向上のため、蓄電池を搭載した「エネルギー自給自足型住宅^{*3}」の開発・普及に積極的に取り組んでいます。当社の 2021 年度新築戸建住宅販売における蓄電池採用率は 72%^{*4} に伸長。今後も引き続き、『ZEH』と合わせ、「エネルギー自給自足型住宅^{*3}」の普及を推進していきます。



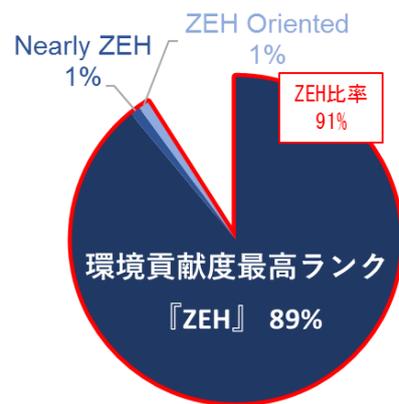
▲当社の蓄電池の採用率

環境共生の住まいを積極展開し、最高ランク『ZEH』比率は 89%^{※1} に続伸

現在、地球温暖化やそれに伴う自然災害激甚化に加え、直近の地政学的リスクに伴うエネルギー価格の高騰や供給不安が発生しており、ZEH の普及による住宅の省エネ化はますます重要になっています。

ZEH には、PV 等の再生可能エネルギー（以下「再エネ」）等を加えて、基準一次エネルギー消費量^{※6} から 100%以上^{※7} の削減と定められている『ZEH』の他、同 75%以上の Nearly ZEH、再エネを除いて 20%以上削減とする ZEH Oriented があります。この中でも『ZEH』は、Nearly ZEH と比較し、CO₂ 排出量が年間約 0.7 トン/戸（杉の木で換算すると約 50 本以上^{※8}）も少ないため、当社はより環境貢献度の高い『ZEH』の普及に注力しています。

大容量 PV を搭載する「スマートパワーステーション」シリーズを中心とした商品展開と、体感型ショールーム「セキスイハイムミュージアム」等を活用した提案力強化により、2021 年度の『ZEH』比率は 89%^{※1} と過去最高を更新。全体の ZEH 比率も 91%^{※5} となりました。



▲当社の ZEH 実績 (2021年度)

建売住宅における『ZEH』比率は 100%^{※2} を達成

第 6 次エネルギー基本計画（2021 年 10 月閣議決定）では、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けて、2030 年度以降に新築される住宅は ZEH 水準の省エネルギー性能の確保を目指すことが示されました。しかしながら、住宅の約 3 分の 1 を占める^{※9} 建売住宅における ZEH 比率は、2020 年度約 2.5%^{※10} に留まっており、建売住宅の ZEH 化推進の加速が必要です。

当社では 1997 年から推進している PV 搭載住宅の実績や、2018 年から標準対応している ZEH 水準相当の断熱性能及び一次エネルギー消費性能（住宅性能表示制度における最高等級相当）に加え、住宅の大半を工場生産するユニット工法の強みを生かした高効率生産により、建売住宅においても高品質、高付加価値住宅を積極的に提案しています。ニューノーマルにおける環境に配慮した快適な暮らしに対するニーズの高まりを捉えた結果、2021 年度に建設した建売住宅において全棟『ZEH』を達成し、『ZEH』比率は 100%^{※2} となりました。

エネルギー自給自足型住宅^{※3}（蓄電池搭載）は 21 年度 72%^{※4} と伸長

頻発する自然災害時の停電リスクを見据えて、当社では 2012 年より、蓄電池を搭載し、できるだけ電気を買わない暮らしを目指す「エネルギー自給自足型住宅^{※3}」を積極的に提案しています。

セキスイハイムグループでは、2021 年に新開発の大容量蓄電池「e-PocketGREEN^{※12}」を搭載し、年間で使用する電力量の約 73%（約 260 日分相当）^{※13} を、発電時に CO₂ を排出しないクリーンな電力である PV で賄う最新モデル「新スマートパワーステーション FR GREENMODEL」を発売。また、2022 年 2 月にリアルサイズの住宅で環境共生型の生活を体験できるショールーム「GREENMODEL PARK（グリーンモデルパーク）」を山口県下関市にオープンし、エネルギー自給自足型住宅^{※3}（蓄電池搭載）の提案力を強化しました。

直近では、地政学的な要因によるエネルギー価格高騰リスクも見据えた提案を実施。その結果、環境貢献と経済性の両立、さらに災害時のエネルギー供給の安心^{※14} に多くのお客様から共感、ご好評をいただき、2021 年度下期の GREENMODEL 受注棟数は前年同期比 218%^{※15} と、大幅に増加。

併せて、新築戸建住宅販売における蓄電池採用率は、72%[※]



▲大容量 PV を実現する新スマートパワーステーション FR GREENMODEL



▲積水化学製フィルム型セル搭載の大容量蓄電池

4と伸長し、過去最高を更新しました。

今後も、サステナブル企業のトップランナーとして、『ZEH』およびエネルギー自給自足型住宅^{※3}（蓄電池搭載）のさらなる普及促進を通して、環境負荷軽減に貢献してまいります。

- ※1 『ZEH』比率は、ZEHビルダーの報告方法に基づいて集計した実績です。
- ※2 建売住宅の『ZEH』比率は、ZEHビルダーの報告方法に基づいて集計した実績です。
- ※3 すべての電力を賅えるわけではありません。電力会社から電力を購入する必要があります。
- ※4 2021年4月から2022年3月における蓄電池（VtoH含む）の契約ベース採用率（当社調べ）
- ※5 ZEHには『ZEH』のほか、Nearly ZEH、ZEH Orientedを含みます。また、ZEH比率はZEHビルダーの報告方法に基づいて集計した実績です。
- ※6 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令」（平成28年経済産業省・国土交通省令第1号）に規定する住宅部分の基準一次エネルギー消費量
- ※7 入居者の電力使用状況等の条件により100%以上の削減ができない場合があります。
- ※8 エネルギー削減量は国土交通省のエネルギー消費性能計算プログラム、杉の木換算は関東森林管理局のデータを元に当社試算
- ※9 国土交通省「建築着工統計調査 住宅着工統計 年次 2021年 | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口 (e-stat.go.jp)」より
- ※10 一般社団法人環境共創イニシアチブ「ZEH_conference_2021.pdf (sii.or.jp)」より
- ※11 国が定めるZEH外皮基準UA値0.6以下（4~7地域）を標準仕様で満たせるようにしました。プランによっては、開口を大きく取り過ぎること等により達成しない場合があります。
- ※12 e-PocketGREENはニチコン株式会社との共同開発品です。
- ※13 [試算条件] 建築地：名古屋、電力契約：中部電力「スマートライフ（夜とく）」（2021年9月時点）、オール電化、PV容量9.72kW、蓄電池12kWh（グリーンモード）、快適エアリー（1階）、エコキュート、延床面積：121㎡、UA値0.54、電力使用量：実邸HEMSデータをもとに試算。使用する環境等の条件によっては、当該数値を満たさない場合があります。
- ※14 PVの発電量や蓄電池の充電残量が使用量や出力を上回る場合のみ、停電時でも電気を使用可能です。天候、季節、使用量、同時使用量（出力）によってはご利用できない機器が発生します。蓄電池の残量が無い場合は、電力は使用できません。
- ※15 2020年下期と2021年下期におけるGREENMODELの契約棟数比（当社調べ）

[セキスイハイム中四国株式会社 会社概要]

- ◎設 立：1986年10月
- ◎資 本 金：3億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 福本佳史
- ◎売 上 高：299億円（2022年3月決算）
- ◎従 業 員 数：740名（関連会社連結）（2022年4月時点）
- ◎事 業 内 容：ユニット住宅「セキスイハイム」「ツーユーホーム」の販売と設計・施工管理、集合住宅の販売と設計・施工管理及び宅地分譲等の不動産取引
- ◎事 業 所：本社、山口支店、広島支店、福山支店、岡山支店、愛媛支店、山陰支店
- ◎グループ会社：セキスイファミエス中四国株式会社、中四国セキスイハイム不動産株式会社
- ◎本 社 所 在 地：〒700-0907 岡山市北区下石井2-2-5（ニッセイ岡山スクエアビル7F）

＜この件に関するお問い合わせは下記までお願いします＞

セキスイハイム中四国株式会社

〒700-0907 岡山市北区下石井2丁目2番5号 ニッセイ岡山スクエアビル7F

■本社 営業統括部 妹尾 TEL：086-235-3322 Mail：senoo@sekisui.com

■お問い合わせ時間 10：00～18：00 ■定休日 毎週 火曜日・水曜日